

人生で何冊の本が読めるのか。 人生を変える本に何冊出会えるのか。

この夏、圧倒的な読書体験をしよう。平安堂スタッフがおすすめする厳選100冊。

小説

【名作】

江戸川乱歩

江戸川乱歩

筑摩書房／¥968

探偵・猟奇・怪奇・幻想・エッセイも含む珠玉の18の名作短編。“不思議”と“あやかし”の乱歩の世界。

深い河

遠藤周作

講談社／¥858

インドを訪れたことで変わっていく登場人物達を通じ、人生や信仰など様々なテーマについて考えさせられる一冊。

人生について

小林秀雄

中央公論新社／¥990

近代批評の創始者であり、確立者でもある小林秀雄。人生に真摯に向かい合い、徹底的に思考を重ねた文章はドキリとするほど力強い。

墮落論

坂口安吾

KADOKAWA／¥484

タイトルとは裏腹に踏み出す勇気と希望を与えてくれる、著者の実体験を交えた名エッセイ。落ち込んだ時何度も読み返しています。

聖職の碑

新田次郎

講談社／¥902

学校登山の目的とは何だったのか

一。「山に登る」その過程で分かる「畏怖の対象としての山」を、この一冊で感じることができる。

砂の器 上・下

松本清張

新潮社／上¥825・下¥990

差別という日本の闇。戦後、明るさを取り戻す社会の中で、暗い過去を抹殺しようとする人間の業、今なお古びない。

源氏物語

紫式部

角川書店 編

KADOKAWA／¥1,056

「古典の中の古典」とも「日本文学史上最高傑作」ともいわれる名著が、原文＋現代語訳＋解説でよくわかるダイジェスト版。

白い巨塔 1～5

山崎豊子

新潮社／①¥737・②¥737・③

¥693・④¥825・⑤¥737

権力を巡る熾烈な権謀術数、医師の良心を問う医療過誤裁判の行末。展開の激しさにもう本を閉じた、でも読まずにいられぬ名作。

ドグラ・マグラ 上・下

夢野久作

KADOKAWA／上¥572・下¥704

その巻物を目にするとして精神に異常をきたすと言われている。真っ白な部屋で目覚めた記憶のない私を待ち構えるものとは…

【現代文学】

お探し物は図書室まで

青山美智子

ポプラ社／¥814

「何をお探し?」独特な声で問う司

書が勤める意外な本が、悩める5人の人生を後押しする、世代を越え心を癒す極上の連作集。

シャイロックの

子供たち

池井戸潤

文藝春秋／¥770

銀行で現金紛失事件発生!その裏で描かれる行員達の葛藤や本音、家族愛。人生や働く意義を問う企業ミステリー。余韻濃厚です。

星の子

今村夏子

朝日新聞出版／¥682

娘の難病完治を願い新興宗教にのめり込んでいく両親と姉妹の物語。正しいのか?正しくないのか?信じられるものは救われるのか?

今度生まれたら

内館牧子

講談社／¥858

70歳の主婦夏江は、今までの人生の選択が違っていたらと思うことばかり。70代では人生やり直せない?

博士の愛した数式

小川洋子

新潮社／¥693

記憶が80分しか持たない博士と、家政婦とその息子が織りなす、切なく慈愛に満ちた普遍的な日常を綴る一冊です。

後悔病棟

垣谷美雨

小学館／¥759

あとわずかな命とわかった時、後悔はないですか?「あの時こうすれば良かったな」と悔いを残すことなく終えられる生き方とは…

四月になれば彼女は

川村元氣

文藝春秋／¥792

過去に失くした「恋」が、大切にしたい本当の「愛」を教えてくれる。スツと心にしみ入るやさしい物語です。

恋

小池真理子

新潮社／¥880

大学生だった布美子は、なぜ軽井沢の別荘で猟銃殺人を犯したのか。助教授の片瀬と妻雛子との出会いが彼女を大きく変えていく。

その日のまえに

重松清

文藝春秋／¥814

死にゆく家族によって、当たり前だった日常が変わる。“その日”の前に何ができるのか。幸せの意味を見つめる連作短編集。

小隊

砂川文次

文藝春秋／¥836

ロシアの独立軍が北海道に侵攻してくる!元自衛隊員によるリアリティのある描写。実際に起こり得る事としての恐怖。

そして、

バトンは渡された

瀬尾まいこ

文藝春秋／¥814

実母を亡くした実父は海外赴任。継母を選ぶも大人の都合に振り回される…。が、愛情は確かにリレーされた。感動の本屋大賞受賞作。

エゴイスト

高山真

小学館／¥594

幼少期に母を亡くした同性愛者の浩輔は、病気の母と暮らすトレーナーの龍太と出会い愛し合う。賛否両論の愛。愛とはエゴなのか。

朝が来る

辻村深月

文藝春秋／¥770

息子を引き取りたいと現れたのは実母なのか?出産した中学生と不妊の主婦、二人の母親の苦悩に満ちた道のりとは—

アレグリアとは

仕事はできない

津村記久子

筑摩書房／¥638

性悪ですぐサボる大型複合コピー機アレグリア。主人公が孤軍奮闘する中事件勃発!マジメに生きる人、共感必至の痛快お仕事小説。

きりこについて

西加奈子

KADOKAWA／¥572

誰になんと言われようとも自分の好きなのは曲げない。自分は自分、他人は他人。ありのままの自分でいる大切さを教えてくれる。

少年と犬

馳星周

文藝春秋／¥858

犬の持つ不思議な力。人に寄り添い励ましや癒しをくれる7つの短編集。表題作を涙なくして読み終えることは出来ない。

まずはこれ食べて

原田ひ香

双葉社／¥803

仕事に人生に疲れて行き詰まった時、滋味溢れる温かく美味しいご飯は何よりの薬です。新しい一歩のために「まずはこれ食べて」

グレースの履歴

源孝志

河出書房新社／¥1,012

妻が遺した愛車「グレース」で、妻が仕掛けた履歴をたどる旅。人々とのふれあいから妻の深い愛情を知ることになる涙の感動作。

静かな雨

宮下奈都

文藝春秋／¥616

親しい女性が交通事故によって新しい記憶を留めておけなくなった。忘れても忘れても、二人の人生は少しずつ重なりゆく。

エミリの小さな包丁

森沢明夫

KADOKAWA／¥836

絶望の淵にしようとも、おいしい料理と人との交流が再起のきっかけになる。一章ごとに前に進むエミリの姿が読者の心を救う。

ミステリー

十角館の殺人

綾辻行人

講談社／¥946

ある秘密を抱えた7人の大学生が集う、いわくつきの孤島で起きた連続殺人。刊行から35年以上たっても色褪せない衝撃が襲う。

その可能性は

すでに考えた

井上真偽

講談社／¥836

奇蹟を求め、奇蹟を信じ、奇蹟を否定するクセの強い探偵と、次々に立ちはだかる濃いキャラ達が繰り広げる爽快ミステリー。

刀と傘

伊吹亜門

東京創元社／¥814

維新志士の不可解な死。処刑直前に毒殺された死刑囚。動乱の幕末で起きた数々の事件とその陰にある人間の悲哀を描く本格推理!

葉桜の季節に

君を想うということ

歌野晶午

文藝春秋／¥825

読者として著者に口ロツとだまされ

る快感を思う存分味わえるミステリー史上に残る傑作。それでいてリアルティもたっぷり!

十二人の死にたい子どもたち

冲方丁
文藝春秋／¥858
廃病院に集まった12人の子も達。死を求める彼らはある出来事をきっかけに疑心暗鬼に陥っていく。最後に待つとんでん返しとは…

暗約領域 新宿鮫 11 大沢在昌

光文社／¥1,386
信頼する上司は殉職、恋人とは別れ、新章を迎えた新宿鮫シリーズ。新任の女性課長や初めての相棒の登場に期待が高まる。

スイート・マイホーム 神津凜子

講談社／¥880
念願の一軒家「まほうの家」は最初から不穏だった。冬の長野を舞台に、人が人を壊していく恐怖がひたひたと浸めてくる。

クララ殺し 小林泰三

東京創元社／¥814
これは夢か現実か?クララとくらら、ふたりを救うことは出来るのか?今なお新たな読者を獲得し続ける、人気シリーズ第2弾。

蟬かえる 櫻田智也

東京創元社／¥814
昆虫好きの心優しい青年、魎沢泉が謎を解く短編集。予想を超える展開はミステリーとしても秀逸!ぜひ「魎沢泉」と出会ってほしい。

機龍警察 完全版 月村了衛

早川書房／¥814
警察×SF、特捜部、傭兵…もう設定だけで手に取りたくなる!『機龍警

義経じゃなく源平合戦の源平合戦の白蔵盈太

義経じゃないほうの源平合戦 白蔵盈太

文芸社／¥748
「三種の神器はどうした?」「え…?」「安徳帝はどうしたのだ?」「は?」兄にピクつき弟に翻弄される範頼の明日はどっちだ!?

あきない世傳 金と銀 源流篇 高田郁

角川春樹事務所／¥638
ここから始まる幸の商いへの道。「買うての幸い、売っての幸せ」を胸に、どんな苦難にも突き進み自らの道を切り拓いていく。

介子推 宮城谷昌光

講談社／¥924
圧倒的な棒術の使い手にして、純粹性の化身ともいわれた介子推。その戦いの日々と生き方を、臨場感たっぷりに描いた作品。

漂流 吉村昭

新潮社／¥880
絶海の孤島への漂流。それも江戸時代となれば現代では考えられない極限状態。その中で生き抜くことを描いた壮絶なドキュメント。

教養・ノンフィクション

定本 黒部の山賊 アルプスの怪

伊藤正一
山と渓谷社／¥968
山は下界とは別世界?異空間?山岳ガイドではなく、山岳小説でもないノンフィクション。読むと無性に山に登りたくなる一冊。

察」第一作に加筆した完全版。

桜底 警視庁異能処理班 ミカツチ

内藤了
講談社／¥748
「怪異」を信じますか?怪異が起こした事件を秘密裏に処理する異能処理班ミカツチ、彼らの活躍をとくどご覧あれ。

リボルバー・リリー

長浦京
講談社／¥1,144
ワンピースとハイヒールでリボルバーを撃ちまくる女主人公に、息をもつかせぬアクションシーン。一気読み確定作品。

去年の冬、きみと別れ 中村文則

幻冬舎／¥506
女性二人が犠牲になった猟奇殺人事件。犯人は本当に彼だったのか。読み終わって、タイトルの意味を知った時、衝撃が走る!

長野電鉄殺人事件 西村京太郎

徳間書店／¥836
松代大本営を訪れた方も多いでしょう。記憶を呼び起こしつつ読めば、イメージはよりリアルに。十津川・亀井が謎に挑む!

蒼き山嶺 馳星周

光文社／¥858
大学の山岳部で苦楽を共にした公安刑事の池谷に、白馬岳へ向かうルートで偶然出会った得丸。しかし彼は昔の友とは別人だった。

さまよう刃 東野圭吾

KADOKAWA／¥836
主人公の娘が殺されたことから始まる物語。復讐に邁進する主人公に、

自分の中に毒を持つ岡本太郎

自分の中に毒を持つ 岡本太郎

青春出版社／¥814
「芸術は爆発だ!」で有名な著者。熱い言葉に励まされる。「死は祭りだ!」と言い遣せるよう、今この瞬間も全力を尽くしたい。

音楽は自由にする 坂本龍一

新潮社／¥1,100
坂本龍一が世界のサカモトになるまで。教授独特の柔軟で突った、そして真摯な考え方がよく分かるファンでなくとも必携の一冊。

エンジェルフライト 国際霊柩送還士 佐々涼子

集英社／¥682
異国で亡くなった人に寄り添い、故国で待つ家族の元に戻る、それが圧倒的な棒術の使い手にして、純粹性の化身ともいわれた介子推。その戦いの日々と生き方を、臨場感たっぷりに描いた作品。

子どものことを子どもにきく 杉山亮

筑摩書房／¥792
父が息子に3〜10歳まで、自らインタビューした記録。あとがきで語られる、15歳になった「隆さん」の話に感動。

こうやって、考える。

外山滋比古
PHP研究所／¥748
「思い付きを逃さない」そんな言葉が頭の片隅にあるだけで、思考の幅が広がるかもしれない。自分の指標となる一文がここにある。

運命を拓く 中村天風

講談社／¥649
常に前向きに考えさえすれば、どんなことがあっても必ず良い方向に向かうと教えてくれます。大谷翔平選手も愛読。

突きつけられる法律の矛盾と「本当の正義」。

逆転美人 藤崎翔

双葉社／¥836
美人であることは不幸か罪か?女性の手記と追記からなる大逆転ミステリー。全ての謎が解ける時、あなたは必ず伏線を読み返す!

dele 本多孝好

KADOKAWA／¥792
死後、見られたくないデータはありますか?データ削除を請け負う2人が事件に巻き込まれながら辿り着く真相と依頼人の想いとは?

主よ、永遠の休息を 菅田哲也

中央公論新社／¥814
記者として事件を追う主人公と記憶を封じた被害者。仄かな恋心をほらんだ出会いが、やがて過去の事件へと向かう。涙の真相とは。

すべてがFになる 森博嗣

講談社／¥869
IT時代到来のはるか前。これほどの専門知識を駆使したミステリーが存在したとは。その後の名声を決定付けた、デビュー作。

検事の本懐 柚月裕子

KADOKAWA／¥770
連続発生する放火事件は同一犯による犯行と思われた。僅かな違和感を元に、上層部の圧力に屈する事なく突き進む検事の物語。

獄門島 横溝正史

KADOKAWA／¥616
1977年公開、東宝映画原作。映画では、原作の犯人設定を変更した事で話題となりました。観てから読むのもオススメです。

木に学べ 西岡常一

小学館／¥607
「堂塔の木組は寸法で組まずに木の癖を組め」。経験を積み重ねた伝統の技に頭が下がります。読んでから参拝したい。

大地の五億年 藤井一至

山と渓谷社／¥1,210
火星や月には、砂はあるが土はない。地球の「特産品」である土と生き物達のせめぎあう五億年の旅。スコップを片手に、いざ。

ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

ブレイディみかこ
新潮社／¥693
日常的な視点から、多様性とは何かを教えてくれる。自分自身や身近な人、社会に対する考えがきっと変わる一冊。

日本語の作文技術 本多勝一

朝日新聞出版／¥660
伊那谷出身の元朝日新聞記者による、読む側にとってわかりやすい文章講義。発売から40年たっても、原則は古びない。

養老孟司の人生論 養老孟司

PHP研究所／¥891
解剖学者は生を、人生をどうみるのか。無駄のない表現に、見事に納得してしまう。人生まさにこう歩きたいもの。

罫嵐 吉村昭

新潮社／¥693
日本熊害史上最悪の惨事、北海道三毛別ヒグマ襲撃事件を扱ったドキュメント。TVでも特集されましたが、活字で読むと怖さ倍増。

海外文学

われはロボット 決定版

アイザック・アシモフ
早川書房／¥1,012
チャットGPTの是非が問われている今。人工的に作ったものと共存してゆくにはどうすれば良いのか?考察する上で必読の書。

三つの棺 ジョン・ディクスン・カー

早川書房／¥1,210
ある雪の夜、密室で起きた殺人事件。名高き「密室講義」も含む、カーの不可能犯罪と怪奇の世界。謎は解けるのか?

キャリアー スティーヴン・キング

新潮社／¥781
寝る前に読むと不愉快な夢を見て目覚めること間違いなしの傑作ホラー。1976年公開の実写映画版も併せて観てほしい作品。

そして誰もいなくなった アガサ・クリスティー

早川書房／¥1,034
イギリスの孤島に集められた10人の男女が、マザーグースの歌に合わせ次々と殺される。犯人の狙いは?10人の共通点は?

82年生まれ、キム・ジヨン

チョ・ナムジュ
筑摩書房／¥748
性差について改めて考えさせられる。女性の日常にある絶望や不条理が描かれていて老若男女の垣根なく読んでほしい。解説も必読。

悲しみの秘義若松英輔

深い悲しみの中で自分自身を見失いそうな時、この本をお勧めします。絶望の底にある人を救うのはいつも言葉だから。

樹木たちの知られざる生活

ペーター・ヴォールレーベン
早川書房／¥946
ただそこに在るだけ、と思われる樹木にも意思がある。森林監視官の目から見た新たな木々の世界。

未来をつくる言葉 ドミニク・チェン

新潮社／¥605
人は基本的に分かりあえないもの。だからこそ話し合う「対話」ではなく、話を重ね合わせる「共話」を諦めてはならない。

ホモ・デウス 上・下 ユヴァル・ノア・ハラリ

河出書房新社／各¥990
『下巻』ではAIに管理された社会にも言及。昨今問われている「チャットGPT」とも関連して、改めて読み直したい一冊。

エッセイ・詩歌

おひとりさまの老後 上野千鶴子

文藝春秋／¥748
おひとりさまブームの先駆者が、老後のノウハウを詳しくレクチャー。人生100年時代の今、年代問わずおすすめしたい一冊。

たったひとつの涸れたやりかた

ジェイムズ・ティプトリー・ジュニア
早川書房／¥1,012
たとえそれしか選ぶ道が無かったとしても、それが最善の道だったとしても、僕らは彼女のように出来るのだろうか?

夜間飛行 サン＝テグジュペリ

新潮社／¥605
夜間飛行が危険とされていた時代に、生命を賭して郵便物を空輸する人々の信念と勇気を描く。サン＝テグジュペリ出色の叙事詩。

カラマーゾフの兄弟 上・中・下

ドストエフスキー
新潮社／上¥1,045・中¥1,045・下¥1,100
誰もが持つ闇、怒り、悲しみ。これはあらゆる激情の波に翻弄される兄弟の物語。人間のすべてが詰まった不朽の名作です。

エリザベス女王の事件簿 ウィンザー城の殺人

S・J・ベネット
KADOKAWA／¥1,430
エリザベス女王が名探偵?細部までリアル、まるで実話のような、英国でも人気のミステリー。高貴でチャーミングな探偵の誕生!

ハイ・フィデリティ ニック・ホーンビィ

早川書房／¥1,694
映画化もされた名作が復刊!90年代のUKロックやポップス、音楽への深い愛情を感じる作品。注釈も忘れずにチェックを。

モンテレヅジョ 小さな村の旅する本屋の物語

内田洋子
文藝春秋／¥935
山奥のその小さな村は、炭や薪ではなく本で生計を立てていた。本を愛し、「読む」ことを広めた人々の、知られざる物語。

これでもいいのだ

ジェーン・スー
中央公論新社／¥704
加齢により記憶力と体力は失われるが、これでもいいのだと思わせてくれる。お茶を飲みつつ、友達と過ごしたような良質な読後感。

ヴェネツィアの宿 須賀敦子

文藝春秋／¥726
白眉は最後の一編。交わることのない父娘の互いへの思慕が、一客のコーヒーカップに凝縮されている。比類なき名品揃いの短編集。

20カ国語ペラペラ 種田輝豊

筑摩書房／¥880
教材が入り困難な時代に20カ国語をマスターした男が、外国語習得に熱中したその人生を振り返る。語学上達のコツも満載。

寒山の森から 田淵義雄

山と渓谷社／¥1,045
著者は30代で山里・川上村に移住、自給自足的田園生活を実践。憧れから本書を手にしたが、楽しいだけでなく自然の厳しさも痛感。

灯をともし言葉 花森安治

河出書房新社／¥869
『暮しの手帖』創刊者の言葉が、時代を超えて聞かける現代日本の

時代・歴史

眩 朝井まかて

新潮社／¥825
暮ණ北斎の娘、お栄の怒涛の日々を、熱く鮮やかに描いた作品。自身も画家として、そして娘として追う父の背は偉大で眩しかった。

おいち 不思議がたり あさのあつこ

PHP研究所／¥792
この世に想いを残したまま亡くなった人の姿がみえる能力を持った少女、おいち。現代にも通じる悩みを抱えた主人公の成長物語。

武田家滅亡 伊東潤

KADOKAWA／¥1,012
愚将か?それとも父を超える才覚の持ち主か―。戦国最強と謳われた信玄亡き後、武田家最大版図を成した勝頼の実像に迫る!

てらこや青義堂 師匠、走る

今村翔吾
小学館／¥902
寺子屋の筆子達の良き師匠、十蔵。元凄腕の隠密は、将軍暗殺を企てる忍びの団と争いに巻き込まれてゆく。著者初期の傑作。

万葉集をつくった男 小説・大伴家持

篠崎紘一
KADOKAWA／¥836
「歌で魂を鎮めよ」。身分の差を超えた[国書]完成に奔走する家持。だが朝廷の反感を買い、追い詰められていく。歴史ロマン小説。

課題。力強く響く言葉の数々に思わずハッとさせられる。

土を喰う日々 水上勉

新潮社／¥693
映画「土を喰らう十二月」の原作にして、漫画「美味しんぼ」で「現代で唯一読むに値する食の本」と称された名著。

老いとお金 群ようこ

KADOKAWA／¥682
お金は貯めるより使ってきたという著者が、問題山積みの老後をどうするか?読めば心が軽くなる!

しかもフタが無い ヨシタケジンスケ

筑摩書房／¥880
ヨシタケさんデビュー作。日常の思いつきイラスト集。目の付け所がさすが。この人に掛かったら、日常が違って見えてくる!

ラインマーカーズ 穂村弘

小学館／¥616
まさにラインマーカーを引きたくなるような言葉の数々。装丁や「ふたたびの、聖書」と題された解説までも美しい。

サラダ記念日 俵万智

河出書房新社／¥528
軽やかな口調で詠んだ短歌は、日常のささやかな一瞬である。SNSにする?それとも短歌?そのくらしい身近さで共感でき面白い。

新編 宮沢賢治詩集 宮沢賢治

新潮社／¥605
小学生の時に出会った「永訣の朝」の中の一文「あめゆじゆとてちてけんじゃ」。心の中にゆっくり浸透し、今も息づいています。

- 店頭のない商品はお取り寄せいたします。出版社における品切れ、価格改正の際はご容赦ください。
- 表示価格は税込価格です。